

White Board

- ◇日本宇宙生物科学会第9回大会シンポジウムのお知らせ
- ◇東大国際シンポジウム「宇宙年代学と同位体地球科学」の御案内

◇日本宇宙生物科学会第9回大会シンポジウムのお知らせ

日本宇宙生物科学会第9回大会の関連行事として、以下に示す要領で公開シンポジウムを開きます。このシンポジウムのみ参加される方は無料ですので、多数ご参加下さい。

タイトル「どうして宇宙へ生きたいの！」

[主旨] 宇宙生物学、宇宙生命科学というものはその生い立ちや将来像を考えると、社会との接触、社会の理解が非常に必要な学問であると言えるが、有限の地球という状況が切実になった今、この必要性がますます重さを増してきている。しかし、現場で手を動かしている研究者はなかなか社会との接触を持ってない。そこで、今回のシンポジウムにおいて、現場の研究と社会の両方をカバーしている方々や接点のある方々に、「なぜ宇宙に関心があるのか」ということに関しての考えや哲学、宇宙との関わり等を話していただき、それを原点として上に述べた問題点を考えてみる、または、少なくとも考えるきっかけとしたい。

[開催要領]

日時：10月3日（火）13：30より
会場：東京工業大学百年記念館3階
フェライト会議室
東京都目黒区大岡山2-12-1

（東急目蒲線、大井町線 大岡山駅下車、徒歩1分）

参加費：無料

参加申し込み方法：当日会場にて、先着200名まで受付。

講師：毛利 衛（宇宙開発事業団 宇宙飛行士）
向井千秋（宇宙開発事業団 宇宙飛行士）
宮崎 緑（ニュースキャスター、東京工業大学講師）
松本零士（漫画家、日本宇宙少年団理事長）
津田幸雄（宇宙社会学、宇宙法律学研究者）

問い合わせ先、連絡先：

1. 〒226 神奈川県横浜市緑区長津田4259
東京工業大学生命理工学部生命理学科
日本宇宙生物科学会第9回大会事務局
小池淳平
TEL:045-924-5712, FAX: 045-924-5805
2. 〒194 東京都町田市南大谷11
三菱化成生命科学研究所
河崎行繁
TEL: 0427-24-6289, FAX: 0427-24-6317
E-mail: kawasaki@libra.ls.m-kagaku.co.jp

◇東大国際シンポジウム「宇宙年代学と同位体地球科学」の御案内

1996年1月17日から20日の4日間にわたり、東京大学山上会館において「宇宙年代学と同位体地球科学」と題する国際シンポジウムを開催致します。このシンポジウムは1989年（箱根）及び1991年（中国，広州）に開催された日中同位体シンポジウムの流れを含んでおり、本年1月に急逝された故山越和雄宇宙線研究所教授が委員長としてとりまとめの努力をされておりました*。今回は国際シンポジウムとしての実質を活かすべく、日中両国以外からも現在活発に研究を行っている国際的に著名な研究者を多く招待しております。東大国際シンポジウムは、東大創立100周年を記念して創設された基金によりその開催費の一部が補助されて行われるシンポジウムです。

このシンポジウムでは、宇宙・惑星・地球などに関する年代学や宇宙線に関連した研究、同位体を用いて行う地球惑星科学などを含み、それらの基礎的な面から応用面に至る広い分野を対象としております。シンポジウムは招待講演者による講演と、5分間程度の口頭による内容説明を伴ったポスターによる発表とを組み合わせで行いますが、公募による発表はポスターによるものと致します。参加者全員が全ての講演及びポスターによる発表に参加出来るようにするため、それぞれのセッションを同時に行うことは致しません。このシンポジウムの場を利用して、その研究成果を発表すると共に外国の研究者達と積極的な議論を交わし、今後の研究等の指針を探る機会とされるよう、特に若手の研究者などのシンポジウムへの積極的な参加を期待しております。

会 期：1996年1月17日（火）－1月20日（土）
場 所：東京大学山上会館
登録料：一般；10,000円（予約登録は12月22日

まで。以後は12,000円。）

学生；5,000円（予約登録は12月22日まで。以後は6,000円。）

いずれもレセプション（17日）、パーティ（19日）代を含む。

支払いは当日会場受付で。

*なお、本シンポジウムの前日（1月16日）に東大原子核研究所講堂において、"Kazuo Yamakoshi Memorial Symposium on Dust"が開催されます。

講演申し込み及び予約登録については別紙（下記に請求して下さい）に必要事項を記入し、また、講演要旨については別紙要領にそって作成し、下記に送付して下さい。

〒113 東京都文京区弥生2-11-16
東京大学大学院理学系研究科
地球惑星物理学教室 杉浦直治 宛

講演申し込み締切：1995年10月10日（火）

講演要旨提出締切：1995年11月15日（水）

予約登録締切：1995年12月22日（金）

[外国人参加予定者]

R. C. Reedy (Los Alamos National Laboratory, U.S.A.)

K. Nishiizumi (Univ. California, Berkeley, U.S.A.)

G. Korschinek (Technische Universitat Munchen, Germany)

D. Elmore (Purdue Univ., U.S.A.)

P. P. Povinec (IAEA, Monaco)

E. Zinner (Washington Univ., U.S.A.)

- | | | | |
|------------------|---|----------|--|
| S. Amari | (Washington Univ., U.S.A.) | S. Wang | (Guiyang, Chinese Academy of Sciences, China) |
| G. Huss | (Caltech, U.S.A.) | | |
| E. K. Jessberger | (Max-Planck-Institut für Kernphysik, Germany) | P. Zhu | (Guangzhu, Chinese Academy of Sciences, China) |
| T. Lee | (Academia Sinica, Taiwan) | C. Shen | (Guangzhu, Chinese Academy of Sciences, China) |
| A. N. Halliday | (Univ. Michigan, U.S.A.) | R. Zhou | (Guangzhu, Chinese Academy of Sciences, China) |
| W. Compston | (ANU, Australia) | X. Wang | (Lanzhu, Chinese Academy of Sciences, China) |
| M. A. Lanphere | (USGS, Menlo Park, U.S.A.) | J. Chen | (Lanzhu, Chinese Academy of Sciences, China) |
| Z. Sharp | (Univ. Lausanne, Switzerland) | M. Kong | (Lanzhu, Chinese Academy of Sciences, China) |
| M. J. Pellin | (Argonne National Laboratory, U.S.A.) | S. Wang | (Chinese Academy of Sciences, China) |
| J. Herita | (Oak Ridge National Laboratory, U.S.A.) | L. Zhang | (Yichong, Chinese Academy of Sciences, China) |
| G. Tu | (Guiyang, Chinese Academy of Sciences, China) | | |
| Z. Ouyang | (Guiyang, Chinese Academy of Sciences, China) | | |